

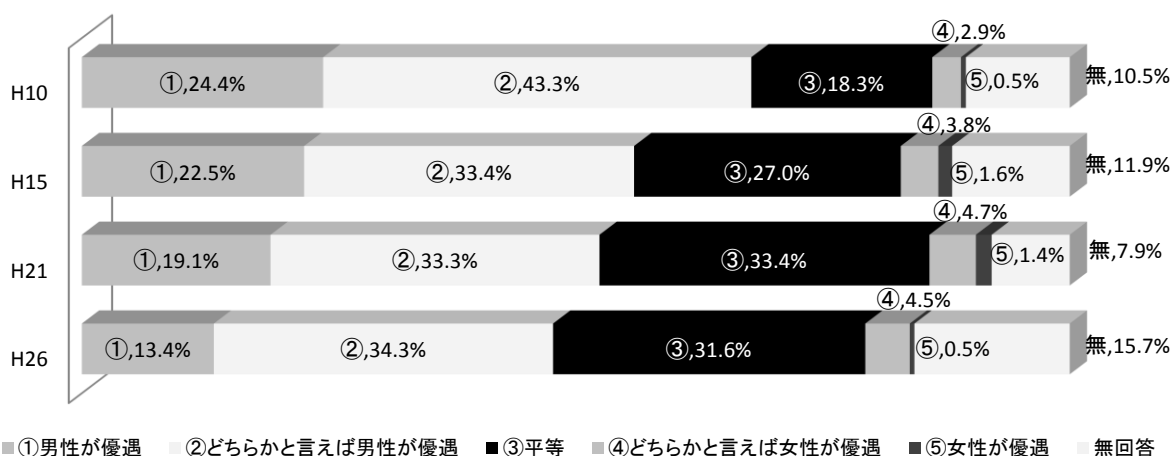
1. 男女平等に関する意識について

問1 次の項目で、男女の地位は平等になっていると思いますか？

- (1) 家庭生活で
- (2) 職場や職業で
- (3) 地域社会で
- (4) 学校教育で
- (5) 法律や制度の上で
- (6) 政治の場で
- (7) 社会通念や慣習、しきたりで

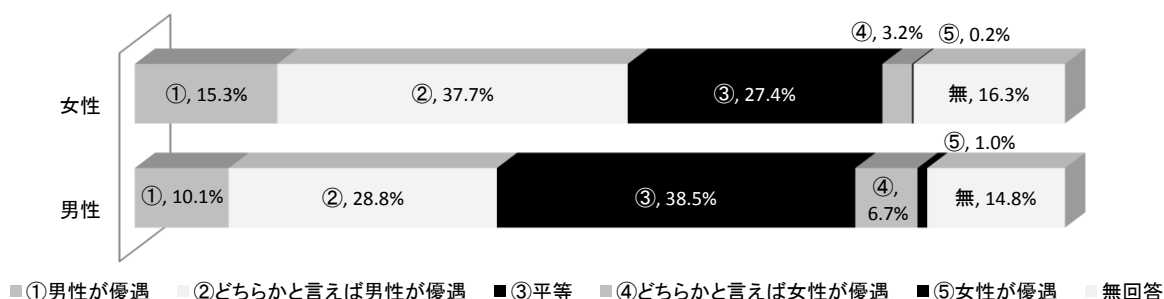
- ① 男性の方が非常に優遇されている
- ② どちらかと言えば男性の方が優遇されている
- ③ 平等である
- ④ どちらかと言えば女性の方が優遇されている
- ⑤ 女性の方が非常に優遇されている

【意識全体の経年変化（7項目の平均値の推移）】



- 「男女の地位は平等」と回答した人の割合は、平成10年の調査開始時から前回調査まで増加していたが、今回は微減
- 「男性が優遇」（①と②の合計）と回答した人の割合は、初回調査では67.7%と、3人に2人が回答していたが、継続して減少しており、今回は47.7%と2人に1人が回答

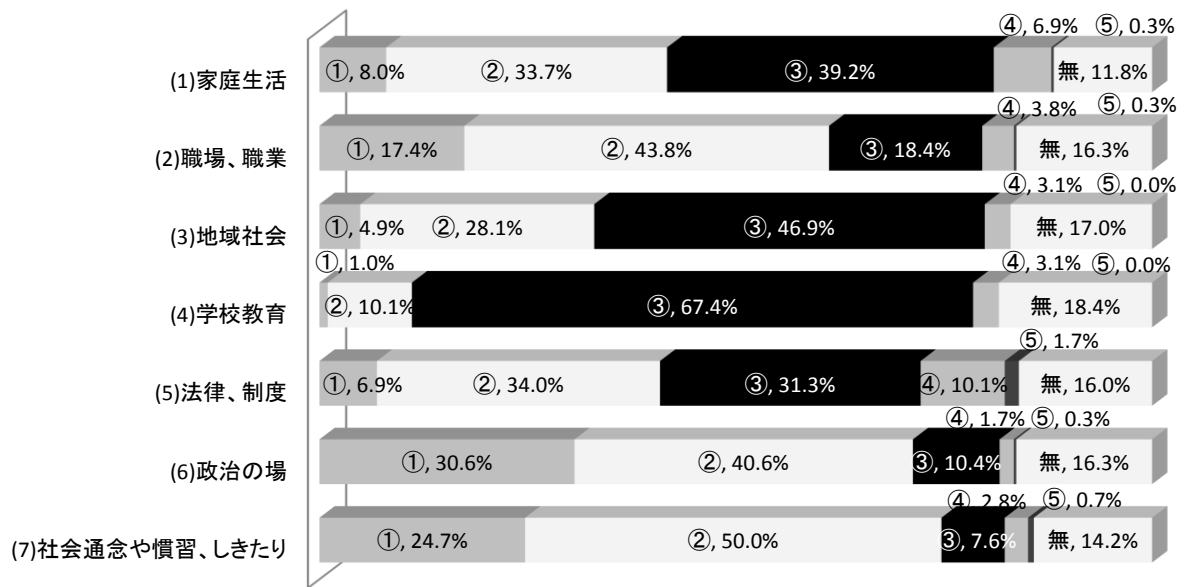
【意識全体(男女別(H26))】



- 「男女の地位は平等」と回答した人の割合は、女性より男性の方が高く、男性の38.5%が回答
- 「男性が優遇」（①と②の合計）と回答した人の割合は、男性より女性の方が高く、53.0%と約半数が回答

【分野別の意識】

※以下、すべて全体 n=288 （女性 n=179、男性 n=109）



■ ①男性が優遇 ■ ②どちらかと言えば男性が優遇 ■ ③平等 ■ ④どちらかと言えば女性が優遇 ■ ⑤女性が優遇 ■ 無回答

- 最も「男女平等」と感じられているのは「学校教育」で、67.4%の方が平等と回答
- 「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人が5割以上の「男性優遇感」が高い項目は、前回調査では7項目中5項目(「家庭生活」「職場・職業」「地域社会」「政治の場」「社会通念や慣習、しきたり」)だったが、今回は「職場・職業」「政治の場」「社会通念や慣習、しきたり」の3項目に減少
- 特に「社会通念や慣習、しきたり」では7割以上の方が「男性が優遇」と感じている

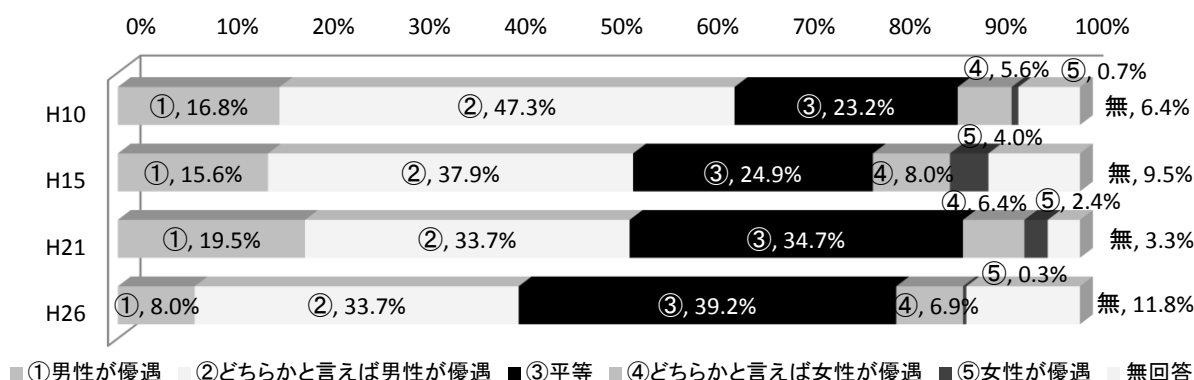
【「平等である」と回答した割合の経年変化】

	H10		H15		H21		H26	
	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合
学校教育	(1)	—	1	62.1%	1	73.9%	1	67.4%
地域社会	4	19.9%	4	24.6%	3	35.6%	2	46.9%
家庭生活	3	23.2%	3	24.9%	4	34.7%	3	39.2%
法律、制度	2	27.0%	2	29.1%	2	37.4%	4	31.3%
職場・職業	6	12.6%	5	19.1%	6	22.8%	5	18.4%
政治の場	5	18.4%	6	17.6%	5	23.4%	6	10.4%
社会通念や慣習、しきたり	7	8.8%	7	11.3%	7	7.9%	7	7.6%

- 継続的に1位で平等感が高いのは「学校教育」
- 2、3位の「地域社会」「家庭生活」は、調査開始時から継続的に増加。特に「地域社会」は増加率が高い
- 一方、5～7位の「職場・職業」「政治の場」「社会通念や慣習、しきたり」は、今回平等感が減少

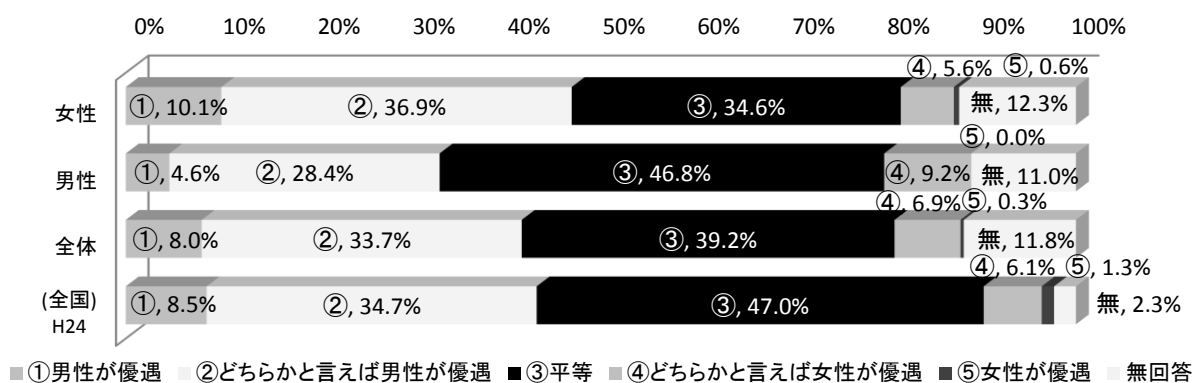
(1) 家庭生活で

【全体(経年変化)】



- ・ 「平等」と回答した人の割合は、平成 10 年の調査開始時から継続的に増加し、23.2%であったのが、今回は 39.2%に増加
- ・ 一方、「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は平成 10 年から継続的に減少し、64.1%であったのが、今回は 41.7%に減少

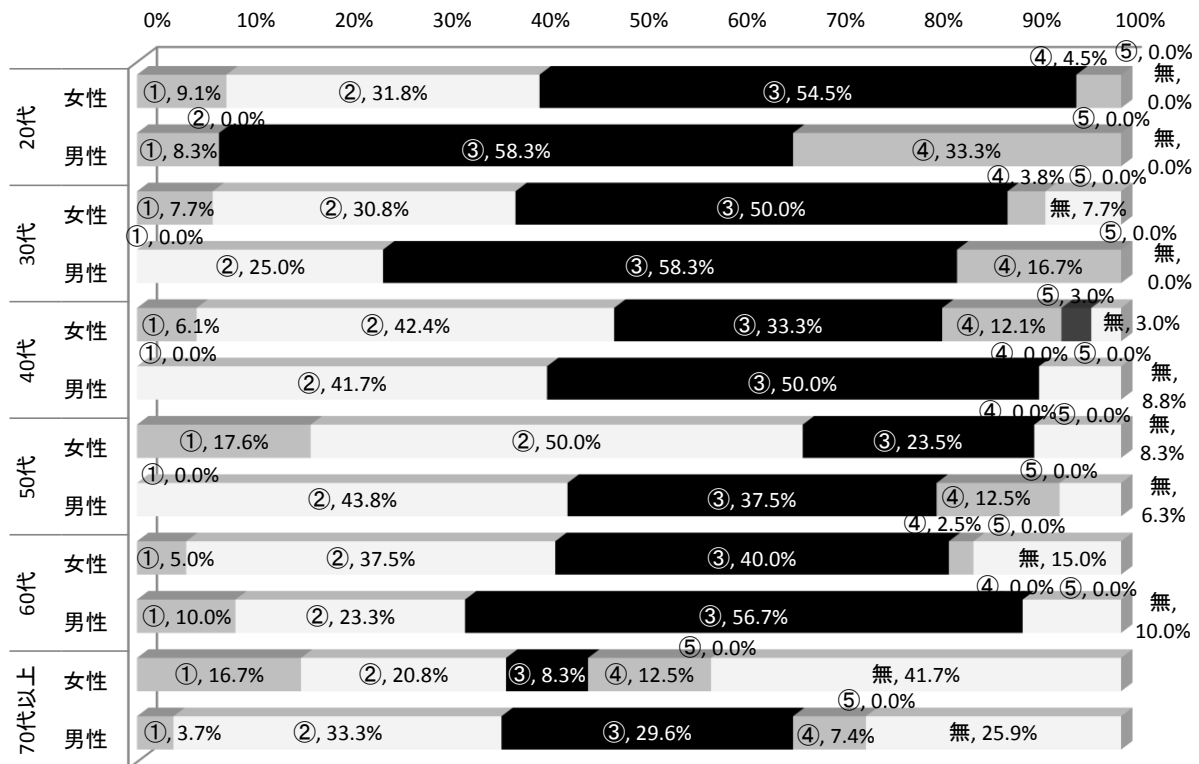
【全体(H26)】



※以下、「(全国) H24」は、平成 24 年度に実施した調査結果の値

- ・ 「平等」と回答した人の割合は、女性より男性が高く、女性 34.6%に対し男性 46.8%
- ・ 「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は、男性より女性が高く、男性 33.0%に対し女性は 47.0%
- ・ 男性の方が平等と感じる人の割合が高く、女性は男性優遇感を感じる割合が高い
- ・ 全国平均と比較すると、石狩市民の「男性が優遇」と回答した割合はほぼ同じだが、「平等」は低い

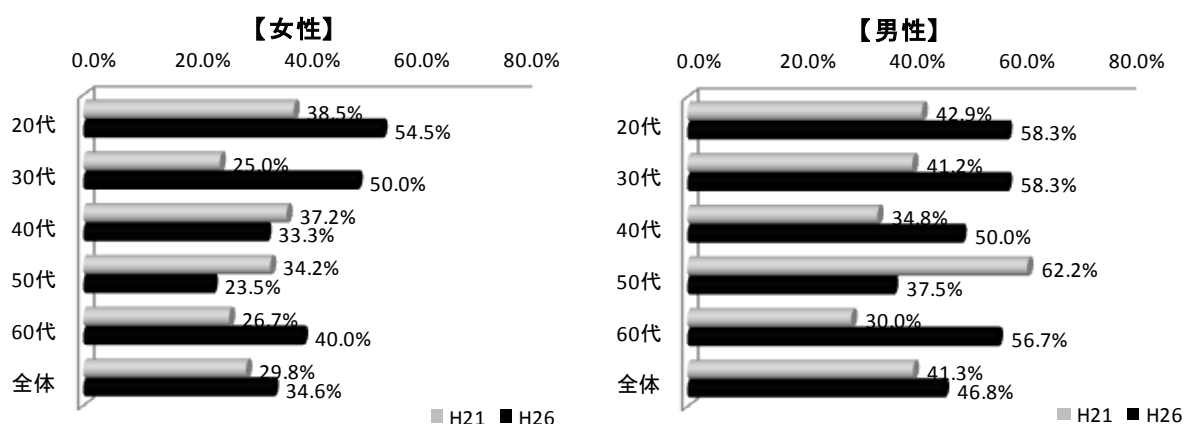
【性別・年代別(H26)】



■ ①男性が優遇 ■ ②どちらかと言えば男性が優遇 ■ ③平等 ■ ④どちらかと言えば女性が優遇 ■ ⑤女性が優遇 ■ 無回答

- すべての世代で、男性より女性の方が平等感が低く、男性優遇感が高い
- 20、30代は男女とも平等感が高く、5割以上の人が「平等」と回答
- 「平等」と回答した人の割合が最も高いのは、20代男性と30代男性で、ともに58.3%
- 「男性が優遇」(①と②の合計)の割合が最も高いのは、50代女性で67.6%

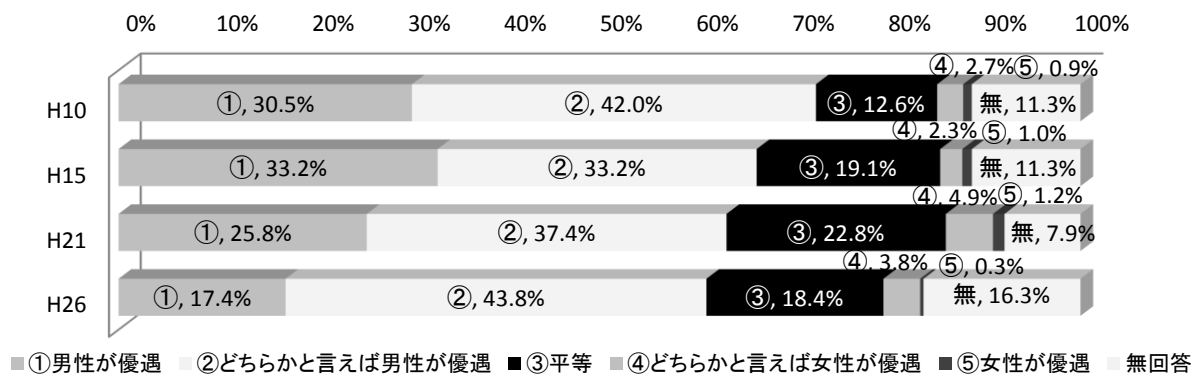
【「平等である」と回答した割合の前回調査(H21)比較】



- ほとんどの世代で増加
- 減少したのは50代男性と40、50代女性
- 大きく増加したのは60代男性、20、30代女性

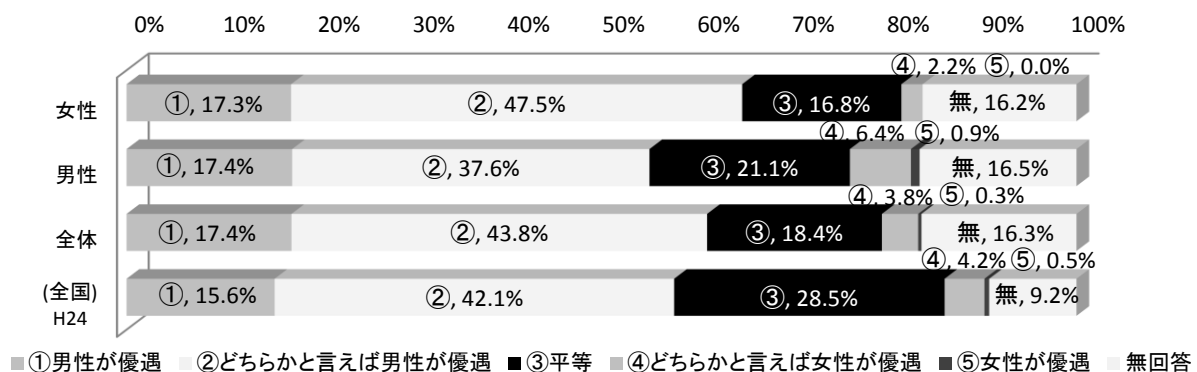
(2) 職場・職業で

【全体(経年変化)】



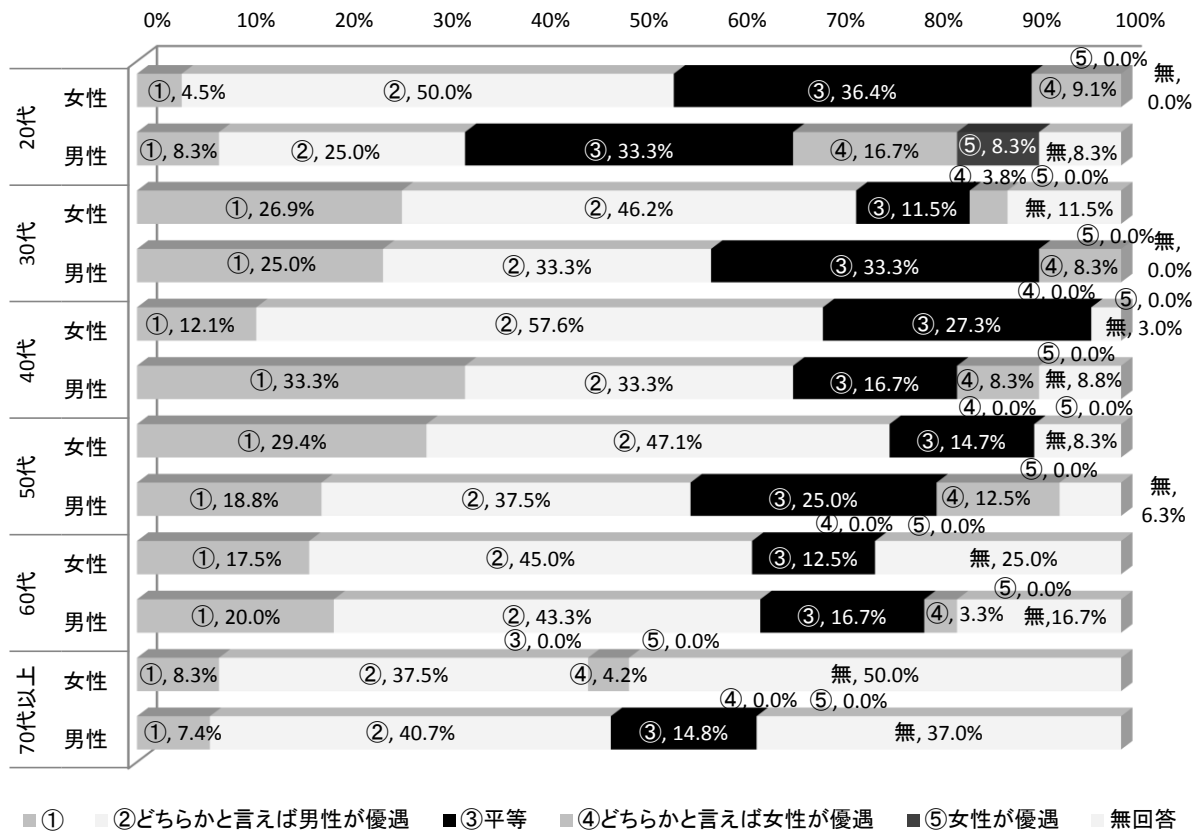
- ・ 「平等」と回答した人の割合は、平成 10 年には継続的に増加していたが、今回は前回から微減し 18.4%
- ・ 一方、「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は平成 10 年の 72.5%から継続的に減少し、今回は 61.2%

【全体(H26)】



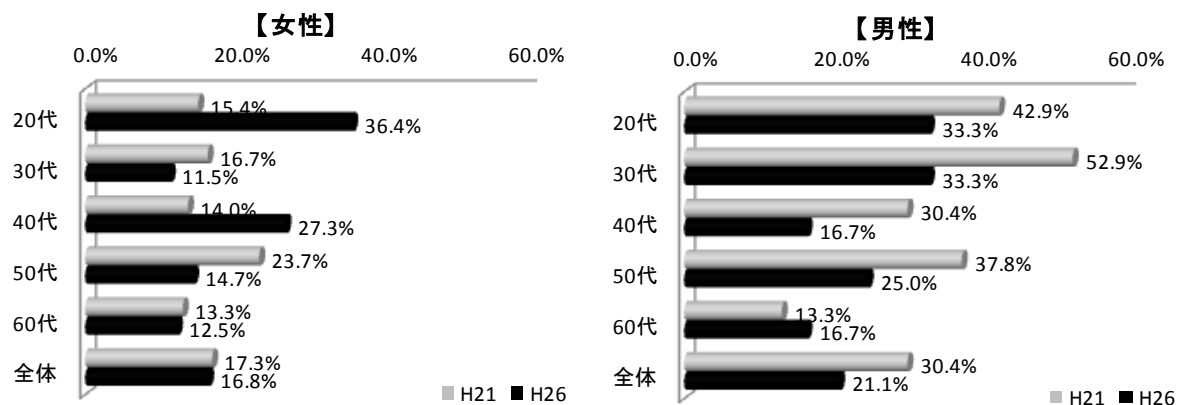
- ・ 「平等」と回答した人の割合は、女性より男性が高く、女性 16.8%に対し男性 21.1%
- ・ 「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は、男性より女性が高く、男性 55.0%に対し女性は 64.8%
- ・ 男性の方が平等と感じる人の割合が高く、女性は男性優遇感を感じる割合が高い
- ・ 全国平均と比較すると、石狩市民の「男性が優遇」と感じる人の割合はほぼ同じだが、平等と感じる割合は低い

【性別・年代別(H26)】



- ・ 「男女とも平等」と回答した割合が高いのは 20 代で、3割以上の人が「平等」と回答
- ・ 50 代以下のすべての世代で、「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は男性より女性の方が高い
- ・ 20 代は、女性の平等感・男性優遇感は女性が高く、一方男性は低い・男女間の意識差がある
- ・ 「平等」と回答した人の割合が最も高いのは、20 代女性で 36.4%
- ・ 「男性が優遇」の割合が最も高いのは、50 代女性で 76.5%

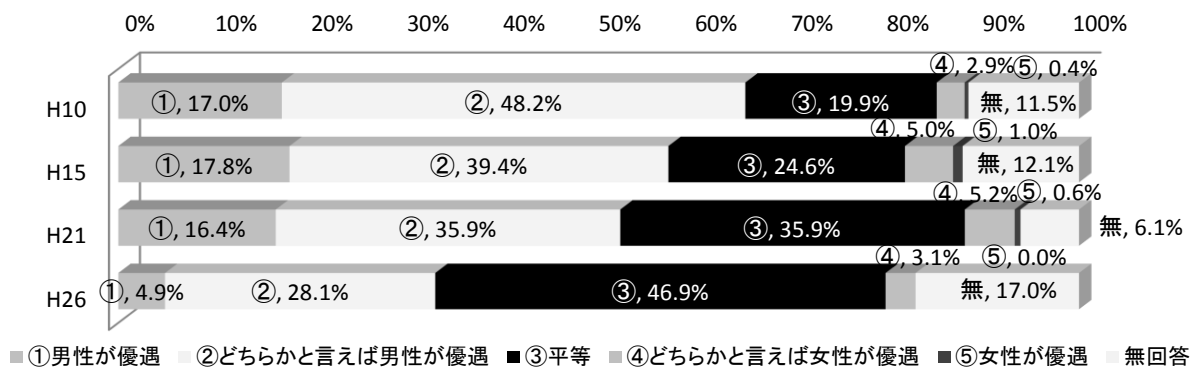
【「平等である」と回答した割合の前回調査(H21)比較】



- ・ 多くの世代で減少
- ・ 男性の方が減少が目立つ。特に大きく減少したのは、30、40 代男性
- ・ 一方、大きく増加したのは 20、40 代女性

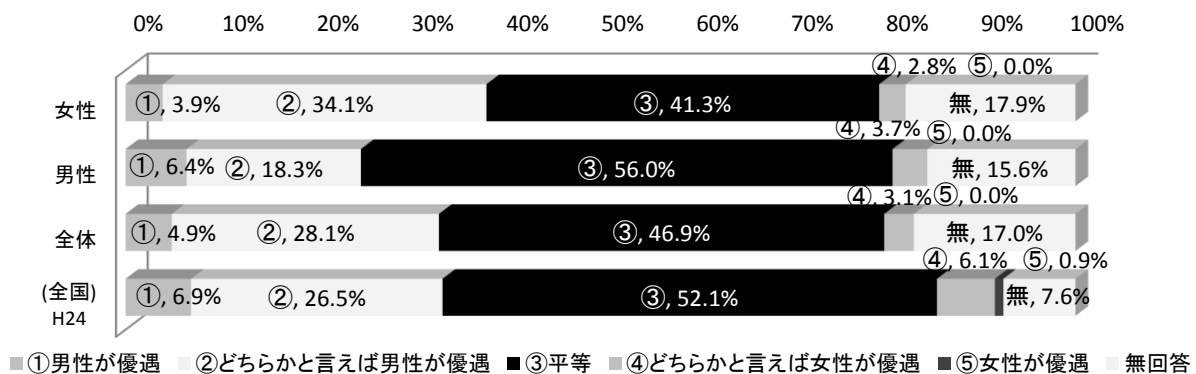
(3) 地域社会で

【全体(経年変化)】



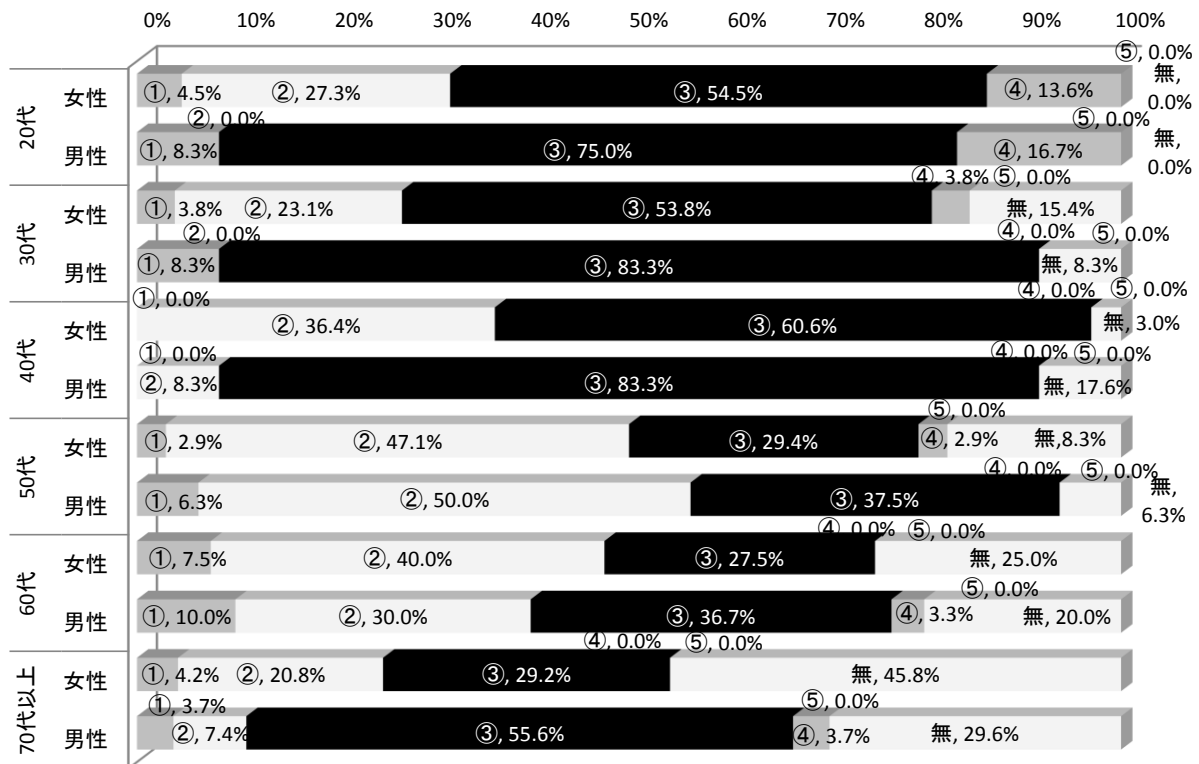
- ・ 「平等」と回答した人の割合は、平成 10 年の調査開始時から継続的に増加し、19.9%であったのが、今回は 46.9%になり大きく増加
- ・ 一方、「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は平成 10 年から継続的に減少し、65.2%であったのが、今回は 33.0%に減少

【全体(H26)】



- ・ 「平等」と回答した人の割合は、女性より男性が高く、女性 41.3%に対し男性 56.0%
- ・ 「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は、男性より女性が高く、男性 24.7%に対し女性は 38.0%
- ・ 男性の方が平等感が高く、女性の方が男性優遇感が高い
- ・ 全国平均と比較すると、石狩市民の「男性が優遇」と回答した割合はほぼ同じだが、「平等」は低い

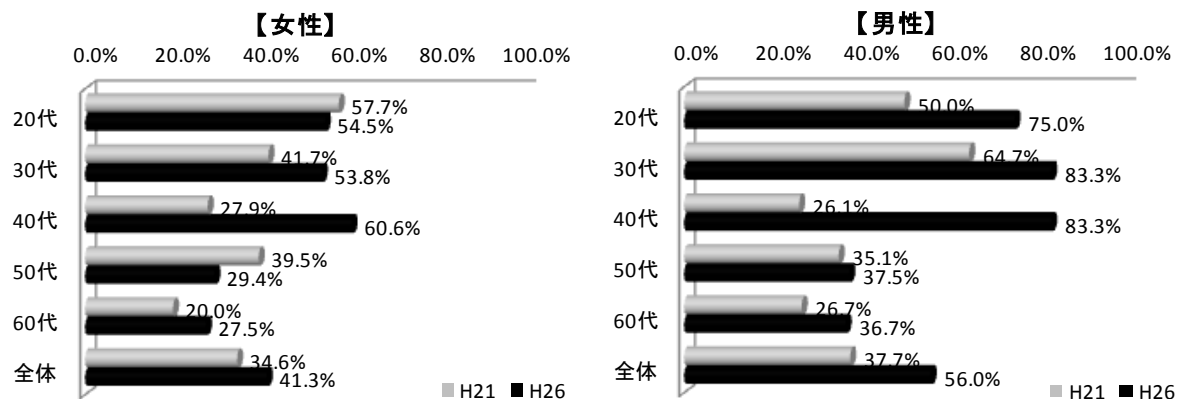
【性別・年代別(H26)】



■ ①男性が優遇 ■ ②どちらかと言えば男性が優遇 ■ ③平等 ■ ④どちらかと言えば女性が優遇 ■ ⑤女性が優遇 ■ 無回答

- ・ 男女とも 40 代以下と 50 代以上で意識の違いが見られ、40 代以下は平等感が強い
- ・ 40 代以下のすべての世代で、男性の「平等」と感じる人の割合が高く 7 割以上、「男性が優遇」(①と②の合計)と感じる人の割合は低く 1 割以下と「平等感」が強いが、女性は男性に比べ「男性優遇感」が強く、意識の差が大きい
- ・ 「平等」と回答した人の割合が最も高いのは、30 代男性と 40 代男性で 83.3%
- ・ 「男性が優遇」の割合が最も高いのは、50 代男性で 56.3%

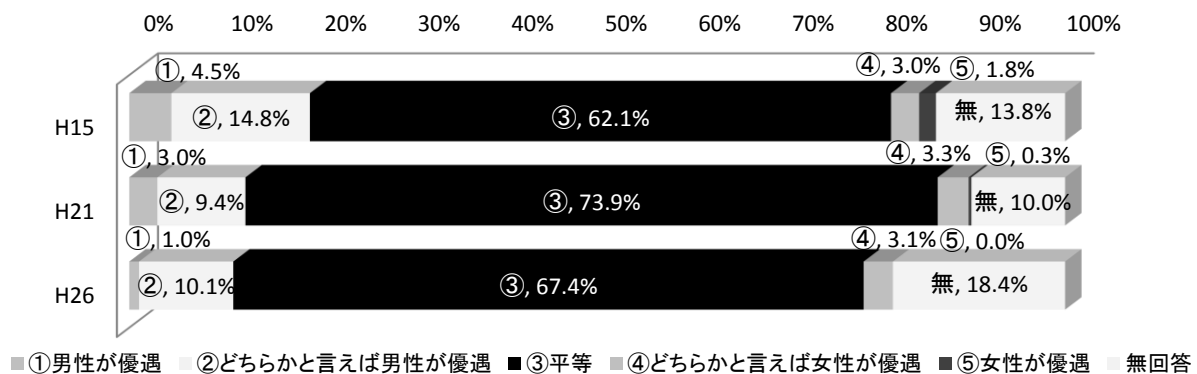
【「平等である」と回答した割合の前回調査(H21)比較】



- ・ 男性はすべての世代で増加
- ・ 女性は 30、40、60 代で増加
- ・ 男性の方が増加が目立つ。特に大きく増加したのは、40 代男性
- ・ 世代では男女とも 40 代で大きく増加

(4) 学校教育で

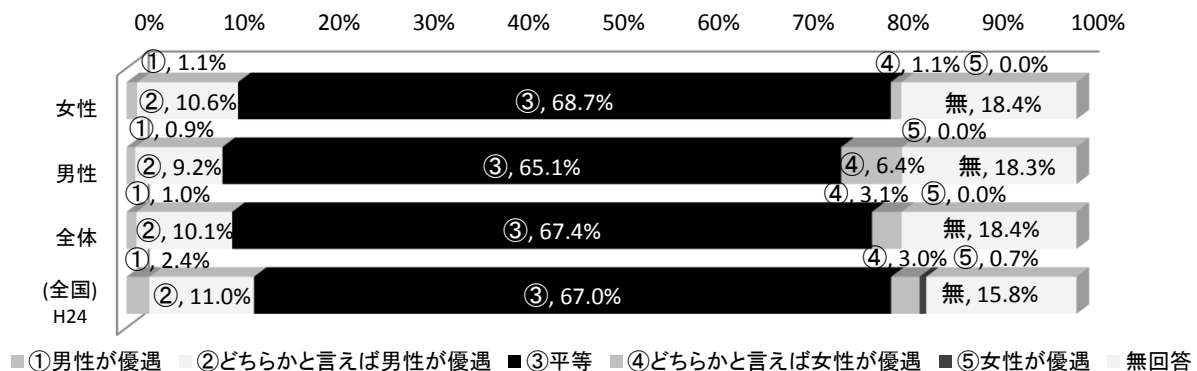
【全体(経年変化)】



※本項目は、平成 15 年度調査から追加

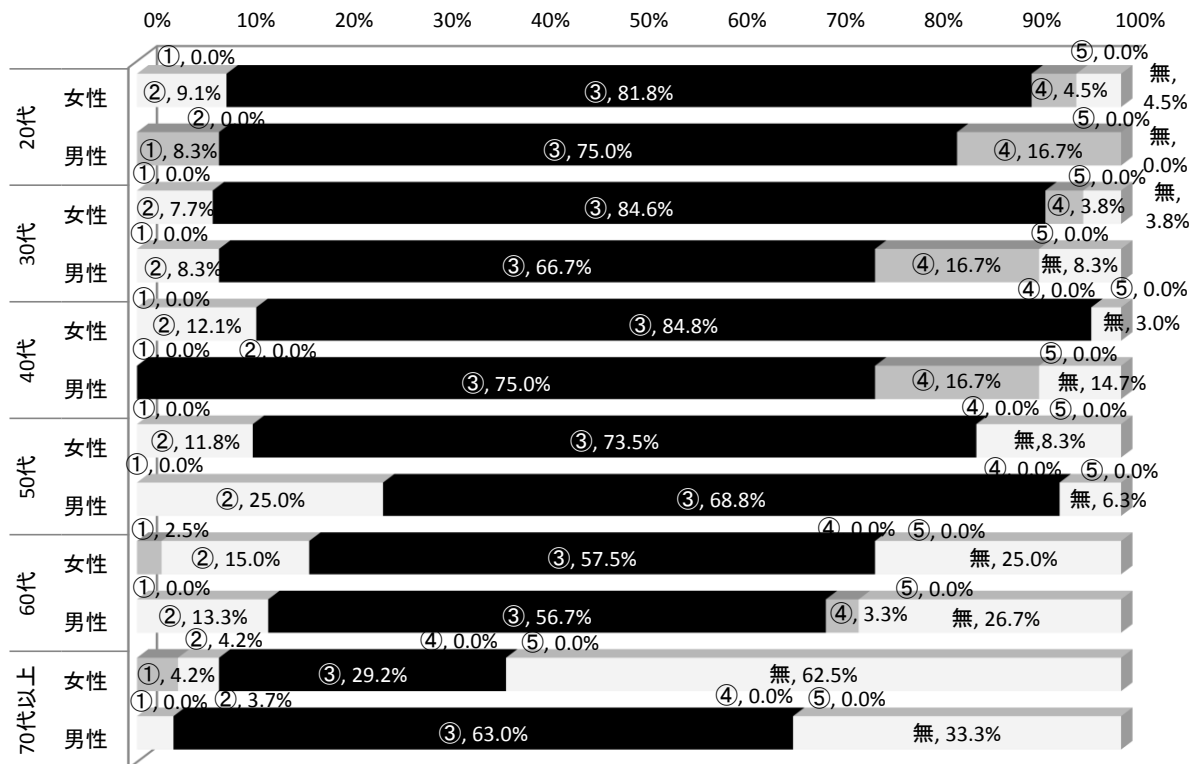
- ・ 平等感は平成 15 年の項目設定時から継続的に高い
- ・ 「平等」と回答した人の割合は、前回から微減し 67.4%
- ・ 一方、「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は平成 15 年から継続的に減少し、19.3%であったのが、今回は 11.1%に減少

【全体(H26)】



- ・ 男女の意識割合はほぼ同じ
- ・ 「平等」と回答した人の割合は、男女とも高く6割台
- ・ 「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合も、男女とも低く約1割
- ・ 全国平均と、石狩市民の意識割合もほぼ同じ

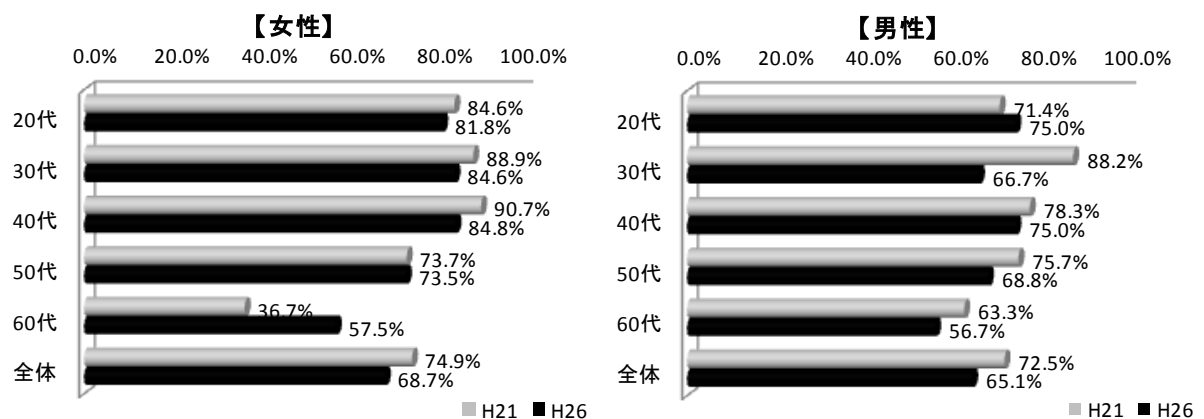
【性別・年代別(H26)】



■ ①男性が優遇 ■ ②どちらかと言えば男性が優遇 ■ ③平等 ■ ④どちらかと言えば女性が優遇 ■ ⑤女性が優遇 ■ 無回答

- ・ 40代以下のすべての世代で、平等感が高い
- ・ 「平等」と感じる人の割合が最も高いのは、40代女性で84.8%
- ・ 「男性が優遇」(①と②の合計)の割合が最も高いのは、50代男性で25.0%
- ・ 「女性が優遇」(④と⑤の合計)の割合が最も高いのは、20、30、40代各世代の男性で、16.7%

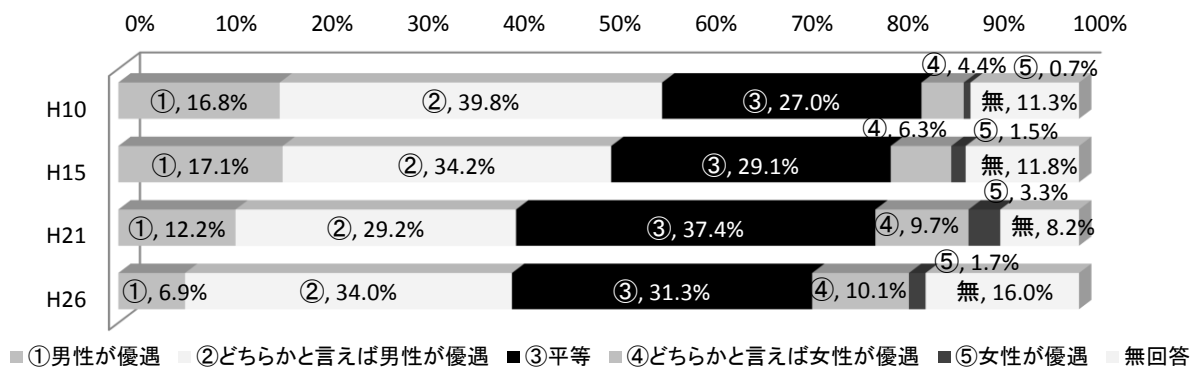
【「平等である」と回答した割合の前回調査(H21)比較】



- ・ 男性は20代以外の世代で減少
- ・ 女性は60代以外の世代で減少
- ・ 特に変化が大きいのは、30代男性の減少

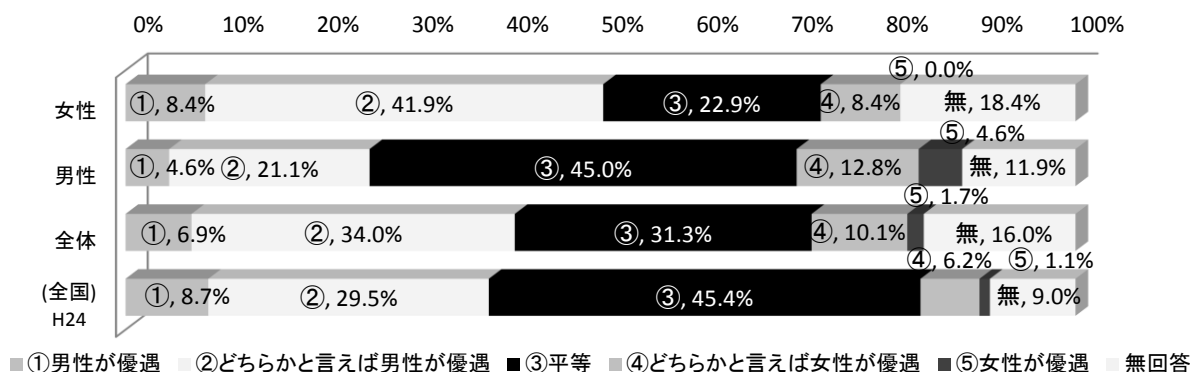
(5) 法律や制度の上で

【全体(経年変化)】



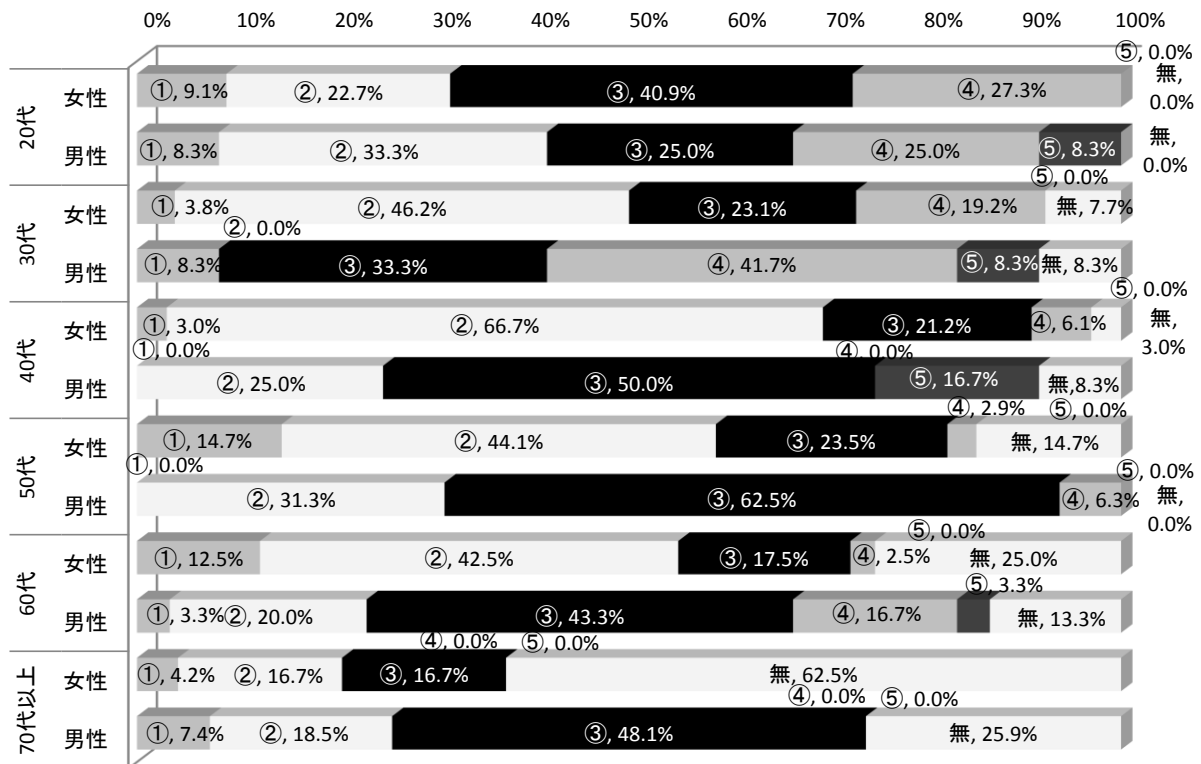
- ・ 「平等」と回答した人の割合は、平成 10 年の調査開始時から継続的に増加していたが、今回は減少し 31.3%
- ・ 一方、「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は平成 10 年から継続的に減少し、56.61%であったのが、今回は 40.9%に減少

【全体(H26)】



- ・ 「平等」と回答した人の割合は、女性より男性が高く、女性 22.9%に対し男性 45.0%
- ・ 「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は、男性より女性が高く、男性 25.7%に対し女性は 50.3%
- ・ 男性の方が平等感が高く、女性の方が男性優遇感が高い
- ・ 全国平均と比較すると、石狩市民の「男性が優遇」と回答した割合はほぼ同じだが、「平等」は低い

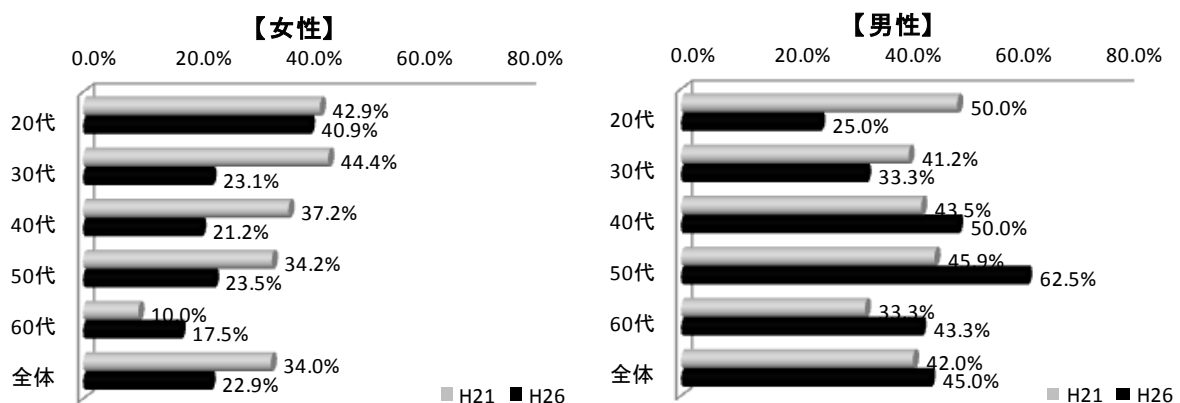
【性別・年代別(H26)】



■ ①男性が優遇 ■ ②どちらかと言えば男性が優遇 ■ ③平等 ■ ④どちらかと言えば女性が優遇 ■ ⑤女性が優遇 ■ 無回答

- ・ 20代以外のすべての世代で、女性より男性の方が平等感が高い
- ・ 20代と70代以上以外のすべての世代で、男性より女性の方が男性優遇感が高い
- ・ 20代は男女の意識割合はほぼ同じだが、30代以上は男性は平等感が強く、女性は男性優遇感が高い傾向があり、意識の差が大きい
- ・ 「平等」と回答した人の割合が最も高いのは、50代男性で62.5%
- ・ 「男性が優遇」の割合が最も高いのは、40代女性で69.7%
- ・ 「女性が優遇」の割合が最も高いのは30代男性で、50.0%

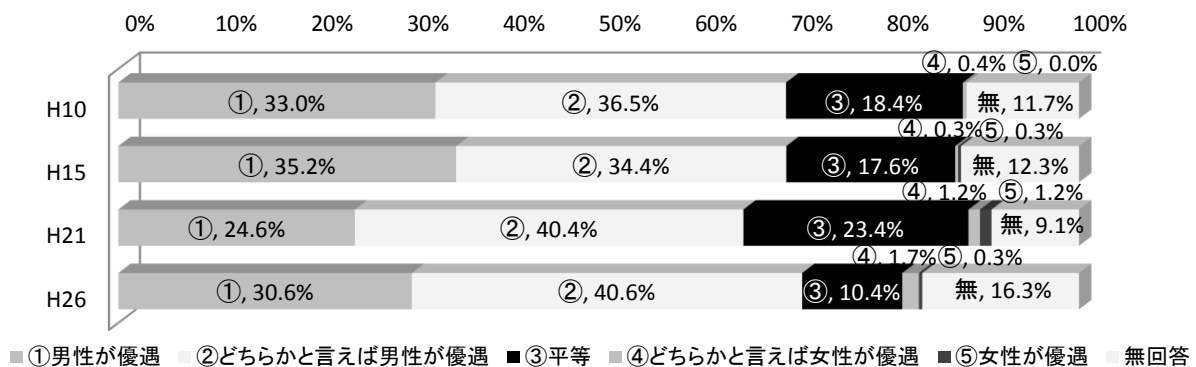
【「平等である」と回答した割合の前回調査(H21)比較】



- ・ 男性は30代以下は減少、40代以上は増加
- ・ 女性は60代以外は減少
- ・ 特に変化が大きいのは、20代男性の減少

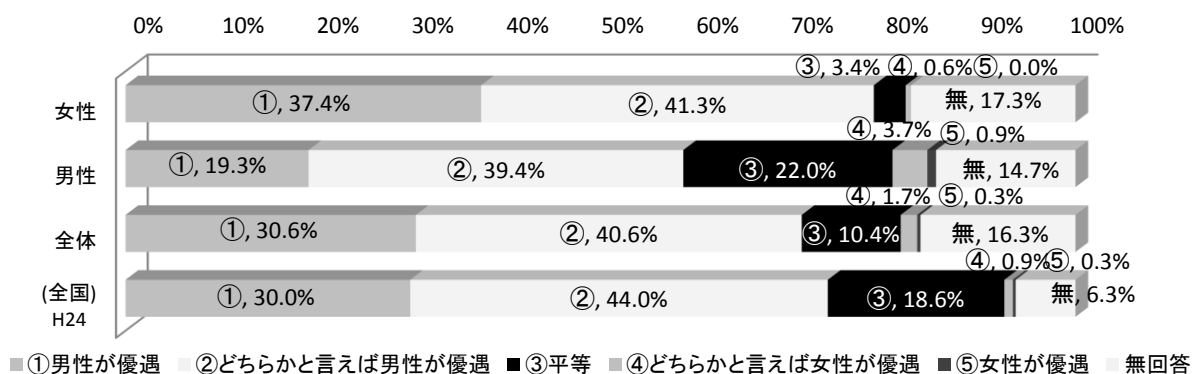
(6) 政治の場で

【全体(経年変化)】



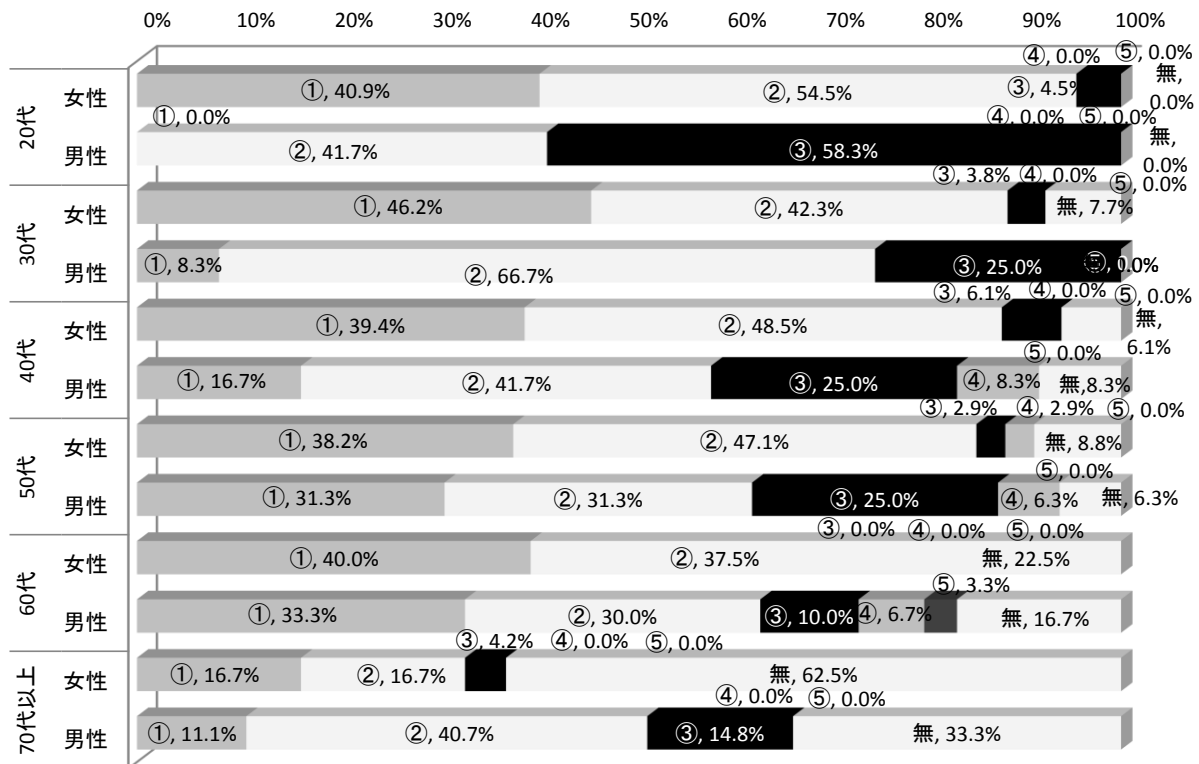
- ・ 「平等」と回答した人の割合は、前回調査で増加していたが今回大きく減り、これまでの調査で最も少ない 10.4% に減少
- ・ 一方、「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は、前回調査で減少していたが今回増加し、これまでの調査で最も多い 71.2% に増加

【全体(H26)】



- ・ 「平等」と回答した人の割合は、女性より男性が高く、女性 3.4% に対し男性 22.0%
- ・ 「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は、男性より女性が高く、男性 58.7% に対し女性は 78.7%
- ・ 男性の方が平等感が高く、女性の方が男性優遇感が高い
- ・ 全国平均と比較すると、石狩市民の「男性が優遇」と回答した割合はほぼ同じだが、「平等」は低い

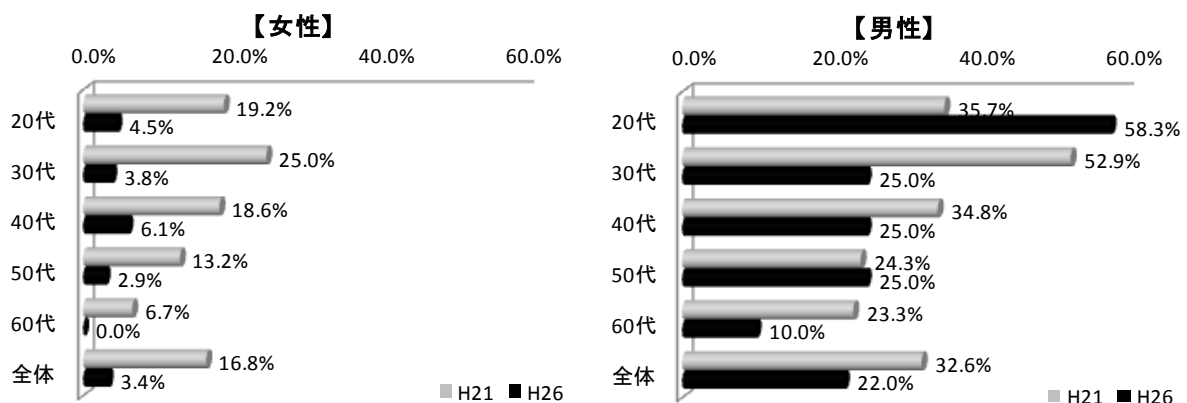
【性別・年代別(H26)】



■ ①男性が優遇 ■ ②どちらかと言えば男性が優遇 ■ ③平等 ■ ④どちらかと言えば女性が優遇 ■ ⑤女性が優遇 ■ 無回答

- ・ 女性はすべての世代で平等感が大変低く 1 割以下
- ・ 60 代以下の女性のすべての世代で男性優遇感が大変強く、特に 50 代以下は9割前後
- ・ 男性と女性の意識差が大きく、特に 20 代について女性は男性優遇感が強いのに対し、男性は平等と感じる人が5割以上
- ・ 「平等」と回答した人の割合が最も高いのは、20 代男性で 58.3%
- ・ 「男性が優遇」(①と②の合計)の割合が最も高いのは、20 代女性で 95.4%

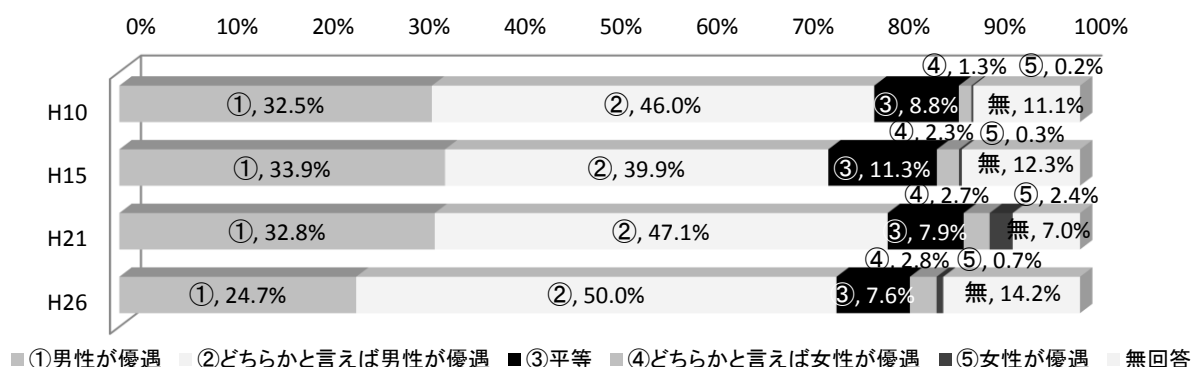
【「平等である」と回答した割合の前回調査(H21)比較】



- ・ 女性はすべての世代で減少
- ・ 男性は 20、50 代以外で減少
- ・ 特に変化が大きいのは、20 代女性と 30 代の男女の減少

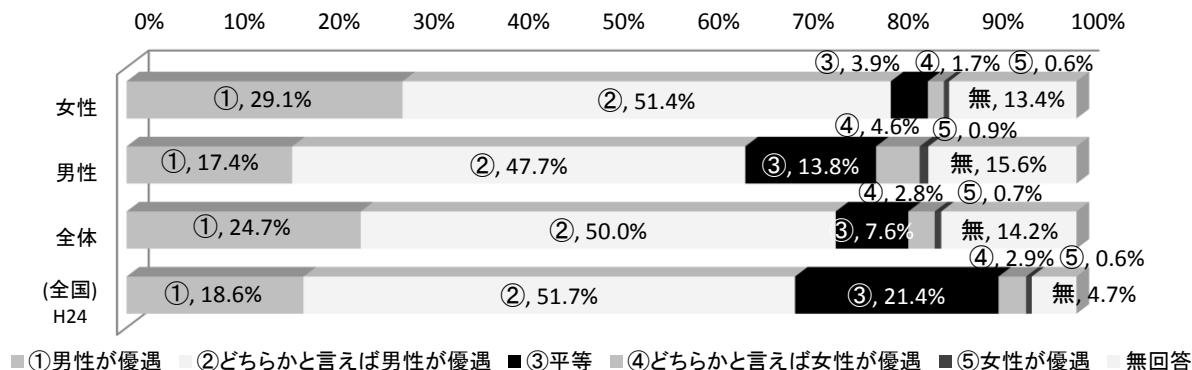
(7) 社会通念や慣習、しきたりで

【全体(経年変化)】



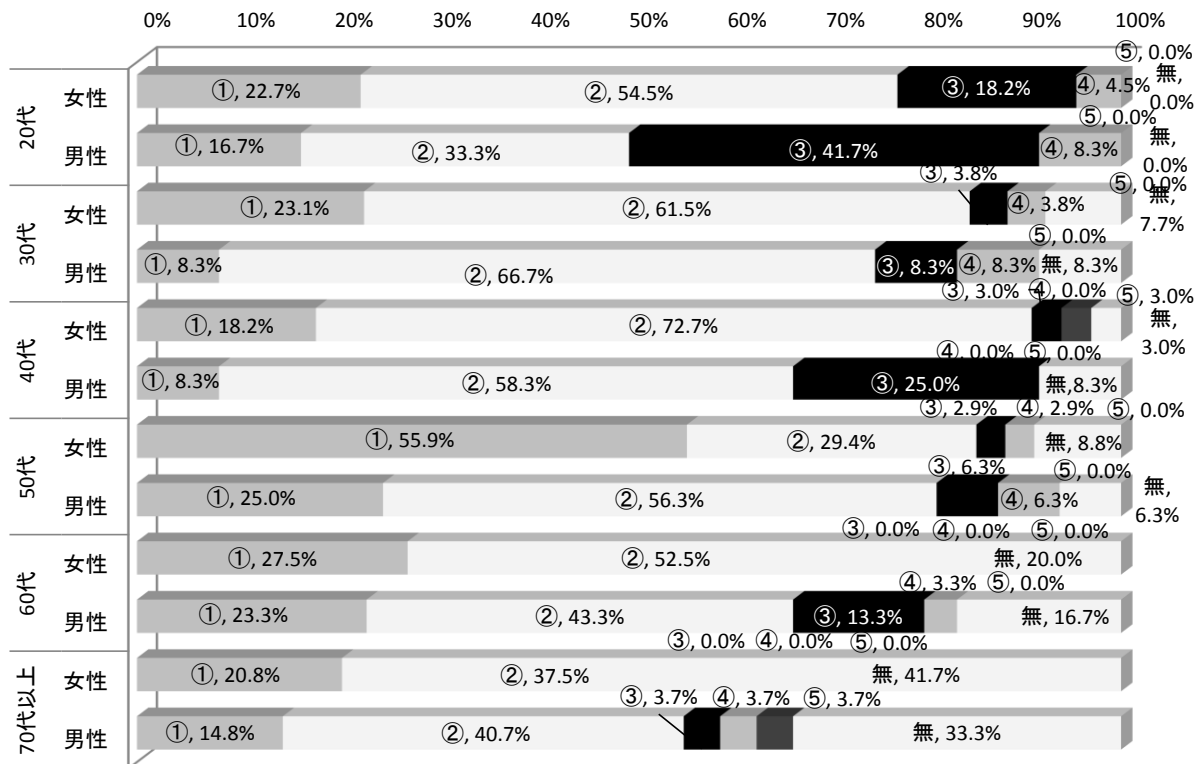
- ・ 「平等」と回答した人の割合は、平成 10 年の調査開始時から継続的に低く、1 割以下
- ・ 今回はこれまでの調査の中で最も少なく 7.6%
- ・ 「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合も継続的に高く、毎回 7 割以上
- ・ 今回は前回の 79.9%より下がり 74.7%

【全体(H26)】



- ・ 「平等」と回答した人の割合は、女性より男性が高く、女性 3.9%に対し男性 13.8%
- ・ 「男性が優遇」(①と②の合計)と回答した人の割合は、男性より女性が高く、男性 65.1%に対し女性 80.5%
- ・ 男性の方が平等感が高く、女性の方が男性優遇感が高い
- ・ 全国平均と比較すると、石狩市民の「男性が優遇」と回答した割合はほぼ同じだが、「平等」は低い

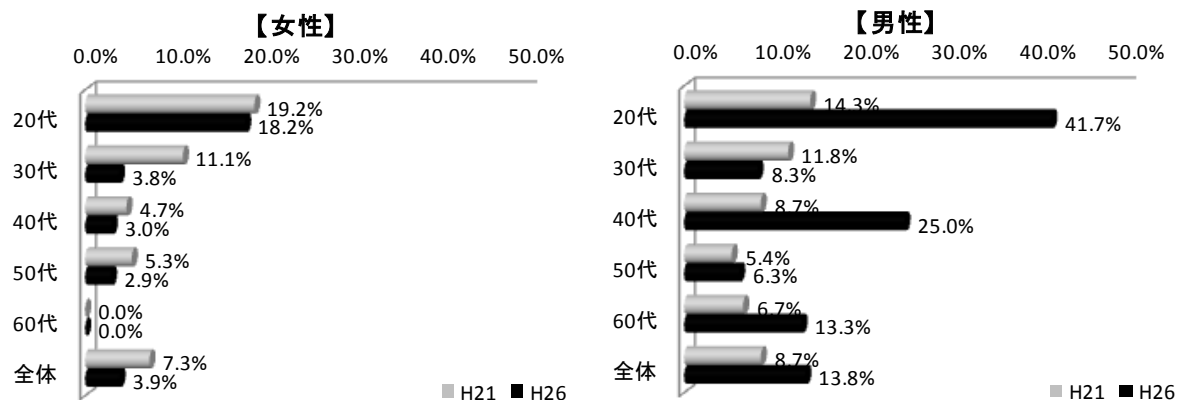
【性別・年代別(H26)】



■ ①男性が優遇 ■ ②どちらかと言えば男性が優遇 ■ ③平等 ■ ④どちらかと言えば女性が優遇 ■ ⑤女性が優遇 ■ 無回答

- すべての世代で、男性より女性の方が平等感が低く、男性優遇感が高い
- 「平等」と回答した人の割合が最も高いのは、20代男性で41.7%
- 「男性が優遇」(①と②の合計)の割合が最も高いのは、40代女性で90.9%

【「平等である」と回答した割合の前回調査(H21)比較】



- 男性は30代以外のすべての世代で増加
- 女性は60代以外のすべての世代で減少
- 特に変化が大きいのは、20代男性の増加